



たまだれ
No.54



版画家カルヨ

エストニアの心

玉垂

Tamadale

遠江國一宮小國神社

平成30年11月16日(金)~平成31年2月17日(日)
開館時間: 午前10時~午後4時
休館日: 平成31年1月1日~1月7日まで
会場: 遠江國一宮小國神社 研修室

主催: エストニア美術館
共催: 遠江國一宮小國神社
特別協賛: エストニア共和国文化省
ART MUSEUM OF ESTONIA
ESTONIAN SPIRIT
Kajlo Põllu's World of Graphics
Exhibition at the Okuni Shrine
16 November 2018 - 17 February 2019

奉祝

天皇陛下御即位三十年

巻頭特集

エストニアの心

“版画家カルヨ・ポルの世界”開催中
～北欧エストニアが生んだ国民的芸術家の軌跡～

特殊神事

えき じん さい

疫神齋の齋行～貴重な祭祀を今に伝える～

特別寄稿文

宮内庁掌典職

松田貴文

宮中の祭祀と
御大礼に伴う行事

“知っていますか？神社検定”



袋井市観光協会第7代袋井ほっと観光特使
足立羽美／神社検定に挑戦!!

小國神社の由来

創

始は神代と伝えられ、延宝八年（一六八〇）の社記によると、人皇二十九代欽明天皇の御代十年（五五五）二月十八日に本宮山峯（本宮山）に御神霊が顕れた後、勅使が遣わされ、山麓約六キロの現在地に社殿を造営し、正一位の神階を授けられました。

それ以来、年々御神前に幣帛を捧げられ文武天皇大宝元年（七〇一）春十八日に勅使奉幣の際、特に十二段舞楽を奉奏されました。延喜七年（九〇七）延喜式内社に列せられ、中世には徳川家康をはじめとする武将など、朝野の崇敬が極めて篤く近世に至っております。

元龜三年（一五七二）の戦では、家康公は御神霊を別所に遷し、願文と三条小鍛冶宗近作の太刀を奉り戦勝を祈願した後、社殿を全て焼失しました。

天正三年（一五七五）に勝利を得た家康公は、御本殿の造営、拜殿・楼門を再建され、更に社領五九〇石の朱印を奉り、以降世々の徳川將軍家より、社殿の改造・修復料を寄進されました。

明治六年六月十三日に国幣小社に列せられ、明治十五年三月に再度の火災により御本殿以下建造物など消失しましたが、明治十九年に復興され現在に至っております。平成十七年には御鎮座一四五〇年祭が斎行され、『遠江国の一宮さま』として崇敬され広く親しまれております。

また、平成十五年九月十四日には、秋篠宮文仁親王殿下同妃紀子殿下のご親拝を賜り、平成十八年十一月八日には、神宮祭主池田厚子様のご参拝、平成二十九年四月二十九日には、高円宮妃久子殿下のご親拝を賜りました。



小國神社のはじまりから
現代までの壮大な物語

おくにじんじや
小國神社ものがたり
ご祭神とともに

 公式ウェブサイト特設ページで
スペシャルムービー公開中

小國神社ものがたり

検索 

日本の神様の物語は
『日本の良き国柄』、『伝統』、『文化』を
今に伝えています。

この物語は、静岡市在住の絵本・造形作家のたたらなおきさんよりご奉納いただいた全長約七メートルの絵物語をもとに作成をしたアニメーションです。神代より語り継がれてきたお話には、

日本人の「豊かで優しい和の心」の原点が描かれています。神々の営みの中から「正しい道筋をたてて生きてゆくことの大切さ」や、「思いやりのこころ」を学びましょう。



台風24号による宗像社周辺の被害状況（平成30年10月1日）

平成最後の年を迎えるにあたり

間もなく暮れる平成三十年は、記録的な暑さや豪雨などの大規模自然災害が多発した一年でした。「ユーキャン新語・流行語大賞」のノミネート三十語の中に『災害級の暑さ』が含まれ、一年の世相を表す「今年の漢字」には、『災』が選ばれました。

九月二十一日に発生し非常に強い勢力で上陸した台風二十四号により、西日本はもとより、首都圏の鉄道が「計画運休」を行ったことは記憶に新しいことと存じます。当社におきましても、末社宗像社の屋根損壊、境内全域に及ぶ倒木、灯籠の破損など甚大な被害がもたらされました。現代社会において、人間の行為が基本となる「社会現象」は、同じ人間として規則性を見いだすことが可能です。一方で、「自然現象」はそのように簡単にはいきません。自然の一部でもある人間は、驕ることなく自然と実直に対峙しなければならぬ大きな転換期にさしかかっているのではないのでしょうか。

さて、近年日本を含む主要先進国において「不安」や「怒り」そして「妬み」が蔓延しているように感じます。心の病も急増しています。科学技術とグローバル化の進展によって「未知なるもの」や「異なるもの」と向き合うことがますます増えています。本来、「未知との遭遇」はリスクとチャンスの両方をもたらすものにも関わらずともすればリスクばかりが極端に強調され、「不安」が過剰に煽られます。そして、「不安」が「怒り」や「妬み」などの原因となっています。このような感情が集合体となり、崇高なることに挑もうとする高潔で志の高い人間を揶揄し、バッシングする社会風潮を生み出しています。ここでは、次代を創る英雄的存在はできてきません。こうした、現代人の精神病理を科学や医療だけでは解決することはできません。

私たちの祖先が大切に護り伝えてきた「神々を敬い、万物に靈性を認め、祖先の心を己の心として、自然と調和しながら人と平和に暮らす生き方」は私たちに不易（時代を通じて変わらないこと）を教えてくれます。不易を知ると「心の芯」が整い、「不安」は「安心」へと変わります。今こそ、日本人自身が真摯にその生き方を学び、実践に努めることが必要であると存じます。その先には、世界に蔓延する「一国主義」や「個人主義」そして「原理主義」を超える、「正義」「徳」「善」「調和」による世界共通の普遍的価値観に基づいた「新たな歴史作り」を牽引する輝かしい日本人の姿があるように存じます。

職員一同、平成最後の年を迎えるにあたり、御皇室のご安泰と国の隆昌と世界の平和を祈る祭祀の厳修に努めて参りたく存じます。氏子崇敬者各位のご壮健をお祈り申し上げます。

平成三十年十二月十五日



エストニア共和国
Republic of Estonia



北欧エストニア共和国国立美術館、国立図書館が所蔵する国民的芸術家カルヨ・ポル画伯の貴重な作品五十点を、小國神社研修室において一同に展示しています。

カルヨ・ポル画伯の作品展が日本で開催されるのは初めてで、当社での展示を皮切りに長野県佐久市近代美術館などをサーキットします。

画伯が表現する深遠な民族神話の世界が来場者を魅了しています。

（開催期間…平成三十年十一月十六日～平成三十一年二月十七日）

エストニアの心 版画家カルヨ・ポルの世界

北欧バルト三国の一つで、IT先進国として様々な世界企業が注目するエストニア共和国の独立一〇〇周年を記念して、現在、世界各国で様々な奉祝行事が開催されています。

この度、国内において当社が開催会場に選定されるという榮譽に浴しました。平成三十年十一月十五日(木)に、エストニア共和国駐日大使ヴァイノ・レ

イナルト閣下、エストニア国立美術館理事長シリエ・ヘルメ様、磐田信用金庫会長高木昭三様、森町副町長村松弘様をご来賓に迎え、記念式典を開催いたしました。

式典には、日本に留学中のカルヨ・ポル画伯のご令孫パウラ・ミヤ・ポル様をはじめ、関係者五十名が参列し、引き続き内覧会をおこないました。



▲テープカット シリエ・ヘルメ理事長（右）
打田宮司（左）



▲オープニングセレモニー
エストニア共和国駐日大使
ヴァイノ・レイナルト閣下(左)

▶ 報道陣の取材に答える
シリエ・ヘルメ理事長



主催 エストニア共和国国立美術館
共催 遠江国一宮 小國神社
特別協賛 エストニア共和国文化省

両国に共通する自然観 万物に靈性を認める「豊かな心」



▲磐田信用金庫会長
高木昭三様



▲ヴァイノ・レイナルト閣下と談笑する
森町副町長 村松弘様(右)

日本とエストニア共和国は飛行機で約十二時間、直通便はなく、第三国での乗り継ぎが必要となります。
力士の把瑠都を輩出し、インターネット回線を利用した無料通信で有名な「スカイプ」を開発した国として、その名前は広く知られましたが、まだ、遠い国のように感じる方もいらっしゃるかと思います。

しかしながら、日本とエストニア共和国が大切にしている民族的気風には興味深い共通点があります。
それは、「万物に靈性を認め、祖先の心を己の心として、自然と調和しながら人と平和に暮らすことでより良い生き方ができる」と考える神道的な価値観と同じものです。

▶カルヨ・ポル画伯のご令孫
パウラ・ミヤ・ポル様



▶内覧会開場



Kaljo Põllu (1934-2010)

エストニア共和国を代表する美術家。その作品や芸術活動は多くのエストニア人芸術家に影響を与えてきた。メゾチント技法を多用した高度な版画技法が特徴で深遠な民族叙事詩を豊かな陰影で表現した。

また、エストニアのみならずシベリアやウラル山脈に住む少数民族の伝承を研究する学術調査隊の隊長としても活躍。貴重な民俗伝承の保護を訴えてきた。エストニア芸術学院、フィンランドのユヴァスキュラ大学の名誉博士に選出、国内外より多くの賞を授与される。

エストニア共和国内の 大手新聞社“Eesti Päevaleht”に掲載

12

KULTUUR

Eesti kunstiklassika rändas jaapanlaste olulisse pühapaika

Grassi Kaljo Põllu 14 tööd on nähtavatel EVIDO galeriis Japansis ja Eesti Olümpiaa- ja Parajade muuseumis. Olümpiaa- ja Parajade muuseumis on nähtav ka Eesti kunstiklassika rändav näitus, mis on koostanud Eesti Kunstiklassika Põllu 14 tööd. Näitus on koostanud Eesti Kunstiklassika Põllu 14 tööd. Näitus on koostanud Eesti Kunstiklassika Põllu 14 tööd.

Täna PÖFF-il: van Goghi päevalilled, ühe naise intiimne portree ja leskede kättemaks

„Pärijannad“

„Lesed“

„Igapikivi väravas“

日本とエストニアの架け橋に

13

Okuni pühamu peapreester: Kaljo Põllu tödest õhkub vabaduspüüdlust

Okuni pühamu peapreester Kaljo Põllu on Eesti kunstiklassika rändav näitus, mis on koostanud Eesti Kunstiklassika Põllu 14 tööd. Näitus on koostanud Eesti Kunstiklassika Põllu 14 tööd.

Okuni pühamu

Okuni pühamu peapreester Kaljo Põllu on Eesti kunstiklassika rändav näitus, mis on koostanud Eesti Kunstiklassika Põllu 14 tööd. Näitus on koostanud Eesti Kunstiklassika Põllu 14 tööd.

Eesti Päevaleht

Festival Jõulujazz! 28.11-14.12.2018

Tellijal on alati eelis!

Telli Eesti Päevaleht ja võida piletit Jõulujazzile!

Loosis 50 piletit!

28.11 „9 hümni vabadusele“

03.12 Salvador Sobral

09.12 Lizz Wright

日刊新聞「エースティ・パヴヴァレフト」2018年11月18日発行 インタビュー・記事(タイム・パヴヴェス/クリスティ・ヘルメ) 日本語訳(タイム・パヴヴェス)一部抜粋

東京から三〇〇キロメートルの距離に位置する小國神社は、日本人の文化的アイデンティティを支える重要な神社の一つであるといえる。

人口一七、〇〇〇人の小さな森町に鎮まる小國神社には年間約七〇万人以上が参拝に訪れる。

このような貴重な場所ですエストニア共和国の代表的な美術品を紹介できる機会に恵まれたことは、非常に名誉なことだ。

キュレーターケルステイ・コル氏は、「本展を小國神社で開催するにあたり経験したことはどれも素晴らしいものでした。私たちの祖先やフィン・ウゴル民族の神話世界に基づいたポルの美術作品は、日本独自の文化を語り伝えてきた小國神社が内包する精神性と共鳴します。」と述べた。

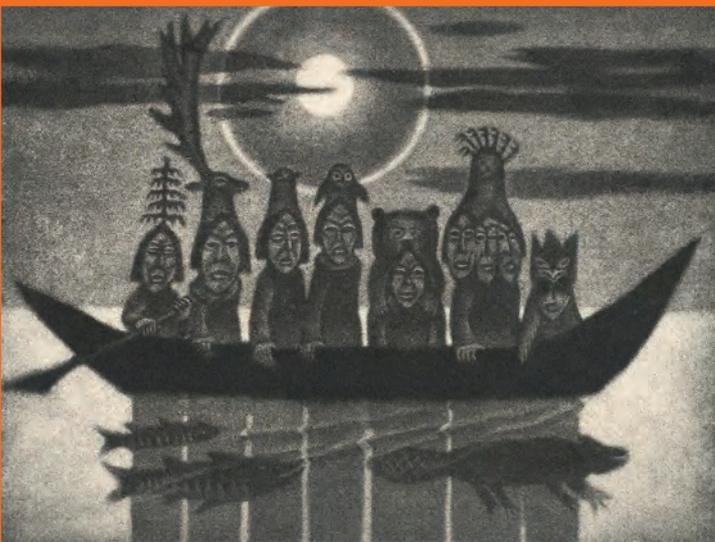
エストニア国立美術館理事長のシリエ・ヘルメ氏は「素晴らしい記念式典に感動し、打田宮司や神職たちのエストニア共和国に対する理解、そして、カルヨ・ポルの版画が内包する芸術的観念への深い理解に大変感激しました。神社で祈りを捧げる心優しい人々に本展を見て頂けることに感謝をしています。幸せです。」と述べ、ポルの作品が持つ、現代に生きる人々に対するメッセージについて、「伝統文化と歴史を研究しても、急速に発展する技術社会を過信すると、残念ながら伝承や伝説が失われることに繋がります。伝統文化が失われた無機質な世界では、人類の真の発展や共存は望めないでしょう。」と述べた。

カルヨ・ポル画伯が青春を過ごしたのは、エストニア共和国が旧ソ連に併合されていた時代でした。この間、国内においては、国外逃亡やシベリアへの抑留などにより、多くのエストニア人を失うことになりました。

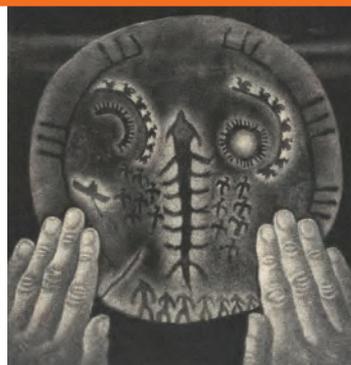
画伯は、そのような抑圧された状況下の中、失われていく「エストニア人の心」をどのようにに次の世代に繋いでいくべきかを考え、それを自身の芸術表現へと昇華していきました。

芸術と時代背景

エストニアは、一九一八年二月二十四日、ロシアより独立を宣言します。この日が現在の独立記念日となっています。その後、二年間に渡り、エストニアは旧ソ連との間で自由獲得のために戦いを繰り広げました。これがいわゆる「エストニア自由戦争」と呼ばれる戦いです。この間に我が国は、エストニア共和国を事実上承認しています。



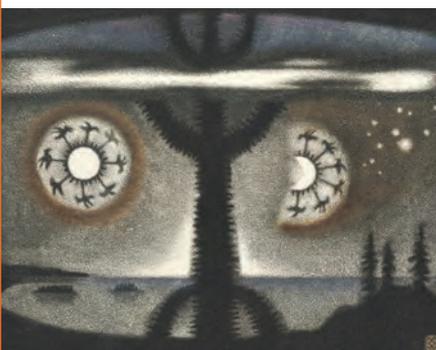
太陽舟 版画シリーズ「小屋に住む人々」より 1974年
メゾチント 紙 37×49cm エストニア国立美術館蔵



大釜のような世界 版画シリーズ「小屋に住む人々」より
1974年 メゾチント 紙 41.4×38.7cm
エストニア国立美術館蔵



二匹の太陽の鹿 版画シリーズ「カリの人々」より
1978年 カラーメゾチント 紙 42×42cm
エストニア国立美術館蔵

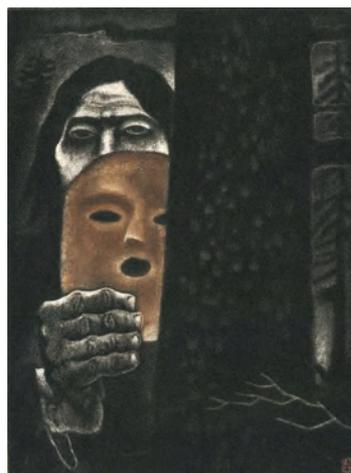


神々の森 版画シリーズ「カリの人々」より 1979年
メゾチント 紙 48.2×36.4cm エストニア国立図書館蔵



営巣地を探す水鳥 版画シリーズ「カリの人々」より 1978年
メゾチント 紙 37×48.5cm エストニア国立図書館蔵

神秘的な
神話世界への誘い



天柱 版画シリーズ「カリの人々」より 1978年
メゾチント 紙 38×48cm エストニア国立図書館蔵

エストニア共和国国立美術館・エストニア共和国国立図書館蔵

展示作品のご紹介

遠江国一宮 小國神社

平成30年11月16日(金)～平成31年2月17日(日)

開館時間：午前10時～午後4時

休館日：平成31年1月1日～1月7日まで

会場：遠江国一宮 小國神社 研修室

www.okunijinja.or.jp



主催 エストニア共和国国立美術館
共催 遠江国一宮 小國神社
特別協賛 エストニア共和国文化省



KULTUURIMINISTERIUM



駐日エストニア共和国大使館



ART MUSEUM OF ESTONIA

ESTONIAN SPIRIT
Kaljo Põllu's World of Graphics

Exhibition at the Okuni Shrine
16 November 2018 – 17 February 2019

神事 疫神齋の齋行

えきじんさい

平成三十年十一月十九日(月)午後二時、疫神齋を氏子・世話人が参列のもと厳肅に齋行いたしました。

祭典後には、「疫神齋神札」を世話人、組長、町内会を通して全氏子へ授与されました。

「疫神齋」その歴史

その起源は定かではありませんが、「延宝の記録」十一月十九日の条に「今夜、疫塚ヲ飾り、疫神齋之祭修業、作法品々有、疫神齋之札ヲ氏子共参詣ノ頂戴之也」と齋行の記録が記されていることから少なくとも三〇〇年以上前から行われていたことが伺えます。



▲拝殿へ向かう宮司以下祭員たち

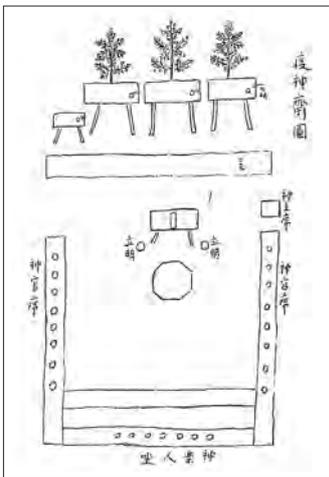


貴重な祭祀のカタチを今に伝える

疫神齋は、ご本殿の御扉を開け、拝殿中門に設置した神籬（神霊を招き降ろすために、清浄な場所に榊などの常緑樹を立て、周りを囲って神座としたもの）に須佐之男神、大物主神、事代主神、行疫神二柱を合わせてお招きし、さらに本社の大己貴命も含めた五柱の神々に神饌（お供えもの）十五台を供え、災厄除けと国家国民の安寧を祈ります。

このように、本社でのお祭りとは神籬でのお祭りを同時におこなうことは大変珍しく、通常の祭典（主に小祭式）よりも厳重な齋戒（飲食や行動を慎んで、心身を清めること）を経ておこなう中祭式で執り行われます。

疫神齋祭場鋪設図
「一宮小國神社年中神事式」より



▶多くの神饌をお供えします





▲修祓(しゅばつ) 祭のはじめに心身を清らかにします

疫神(えきじん・やくじん)とは

どのような神さまでしようか？

病気や様々な災厄をもたらす悪神であると考えられています。当社の疫神齋において招かれる神々は、私たちにとって親しみ深い神々ですが、一方で祟り神の側面などが古事記や日本書紀各地に伝わる風土記に記されています。

例えば、大物主神の祟りについて、古事記の崇神天皇の条に、『此の天皇の御世に、疫病に起こりて、人民尽き

なむとす。ここに天皇愁へ歎きたまひて、神床に坐しし夜、大物主、御夢に顕れてのりたはく、「是は我が御心ぞ。故、意富多々泥古(おほたたねこ)を以て、我が前を祭らしめたまはば、神の気起こらず、国も亦安く平らぎなむとのりたまひき。』とあり、この話は、疫神齋の祝詞にも記されています。

当社に現在する最古の記録 (延宝の記録)に記された祭祀

疫神信仰と災厄を防ぐ靈威ある神へと変わるとき

疫神に対する信仰は古く、令義解には年中祭祀として「鎮花祭」が規定されています。これが当社の疫神齋と性格を同じくするものと考えられます。

鎮花祭は、春、花の散る季節に疫神が四方に分散し、様々な疫病や災いをおこすことを防ぐためのお祭りです。当社では、春と対をなす秋の収穫の季節に重きを置き、疫神齋が行われてきたと考えられます。

このことから我が国では古来より、年の節目に疫神に対するお祭りが行われてきたことが伺えます。

他にも、災厄をもたらす疫神に対す

るお祭りは、都へ疫神が入らないよう都の四隅で行われていた道饗祭(みちあえのまつり)や祟りをもたらす靈魂を神霊として鎮め祭ること(御霊信仰)にも見られます。

いずれのお祭りも『丁重にお祭りを行うことにより災厄を防ぐ靈威ある神へと変わる』との我が国独自の考え方に基づきます。

現在でも「疫神送り」と称される行事が行われる地域があるなど、日々の生活の平穏を祈る人々の気持ちは変わりません。



▲氏子、世話人が祈りを捧げます



▶ 伶人としてご奉仕される
(有)政和電気会長 中根倉二様

新嘗祭の斎行

ご参拝の皆さままで賑わう十一月二十三日(金)に新嘗祭を斎行いたしました。

氏子崇敬者の皆さまよりご奉納いただきました農産物やご奉納の品々をご神前にお供えし、今年一年の収穫と諸産業の発展に感謝を捧げました。

神代からの教えを守り伝える

『新嘗祭』は、私たち日本人の精神文化であり、『和のこころ』を育んできた大切なお祭りです。

新嘗祭とは

稲の新穀を捧げ、ご神恩に感謝をする我が国において最も大切なお祭りの一つです。その歴史は古く、日本の国の成り立ち、歴史を記した書物である『古事記』・『日本書紀』にも天照大御神が新嘗祭を行ったことが記されています。

宮中においては、神武天皇建国以来、歴代天皇の祭祀の中でも特に大切にされ、天皇がその年に収穫された稲などの食物をお供え物として天照大御神をはじめ、八百万の神々に捧げ、自らも共に召し上げられ、ご神恩に感謝されます。

新嘗祭には、内閣総理大臣と農水大臣、衆参両院の議長、最高裁の長官などが国民の代表として参列します。



品評会開催

新嘗祭に併せ、小國神社振興会による「第六十二回農産物品評会」を開催いたしました。本年は猛暑や台風といった自然が猛威を振るい生育状況が心配されましたが、見事な奉納農産物が並びました。本年は二一七点もの農産物をご奉納いただき、新嘗祭斎行後には奉納農産物即売会も行われ、大変な賑わいとなりました。

ここに品評会で受賞された方々をご報告いたしますとともに、篤く御礼申し上げます。

- サツマイモ(紅あずま) 中川上 石黒 寛
- レタス 牛 飼 半田教夫
- 小國神社振興会賞
 - キャベツ 宮代東 松尾貞子
 - シょうが 宮代東 高木千秋
 - 米 草ヶ谷 小澤良吉
 - 治郎柿 円田下 大場 篤
 - 茶 中川上 本多利吉
- 特等賞
 - ブロッコリー 宮代東 松尾貞子
 - ナメコ 橘 中村隆好
 - 米(シシトウ) 草ヶ谷 高柳節義
 - 大根 円田上 鈴木紀雄
 - キウイ 牛 飼 堀内喜久江
- 特別賞
 - 十点出品 宮代東 松尾貞子

- 協力賞
 - 第一位 牛飼部農会
 - 第二位 円田上部農会
 - 第三位 中川上部農会
 - 第四位 橘部農会
 - 第五位 谷崎部農会
- 小國神社賞
 - 里 芋 赤 根 鈴木正利
 - 治郎柿 谷 中 井口 始
 - 白菜 中川上 本多利吉
 - 茶 中川上 本多利吉
 - 玄 米 中川上 鈴木定男
- 遠州中央農業協同組合理事長賞
 - メロン 米 倉 平田秀幸
 - しいたけ(スライス) 橘 高木一彦
 - 米(シシトウ) 円田上 鈴木伸明



平成三十年

篤志奉納者へ感謝状贈呈

新嘗祭に併せ、昨年十一月より本年十月までに、大前にご奉納された皆さまへの感謝状贈呈式を行いました。

本年は、書「不易流行」をご奉納された王進様、日本画「赤不二」をご奉納された栗原幸彦様、ご浄財をご奉納いただいた(有)政和電気会長中根省二をはじめとする七名の皆さまに感謝状を贈呈いたしました。

ここに、ご奉納品名とご芳名を掲載し、改めて篤く御礼申し上げます。

- 書 「不易流行」 一 幅 書 家 王 進
- 日本画「赤不二」 一 幅 日本画家 栗原幸彦
- 浄財 金一封 廣瀬葉子
- 浄財 金一封 (有)政和電気 会長 中根省二
- 神饌米 栗田得起千
- 神饌米 鈴木孝
- 神饌米 村松伊佐雄

(順不同・敬称略)



▲ご浄財にて新調された楽太鼓 中根省三様(左)

神々とお祭り

私たちの祖先は、かみまう神祭りのなかから生

き方を学び信仰の礎としてきました。

また、古くからの伝承や歴史をふまえ、

豊かに暮らす知恵を生活のなかに生かし、

神々と生活をともにしてきました。

毎年同じ時期にお祭りが繰り返し行な

われ、私たちはその中で信仰や文化をか

たちづくってきました。

「お祭り」とは、

日本の伝統にもとづいて、

神々に対する祖先のこころを

今に伝える大切なかたちです。

社頭動静

第六回もりもりマーケット in 小國神社の開催

森 町出身の女子が提案する
『森の暮らし方』

五月二十七日(日)もりもりマーケットが盛大に開催されました。

このイベントは、森町に店を構える土屋製菓の今泉京子さんらが中心となり、若い感性で『森町の楽しさ』を伝える人気のイベントです。

当日は、約三十店舗が軒を連ね、こだわりの雑貨や健康に配慮された食品などが販売されました。

当日、買い物を楽しんでいた参拝者からは、「小國神社の緑の中で、ゆったりと買い物を楽しむことができました」とのお声かけもいただきました。

もりもりマーケット

櫻井よしこ先生



国家基本問題研究所理事長 櫻井よしこ様のご参拝

国 家の危機に立ち向かう女性論客

七月十四日(土)に国家基本問題研究所理事長でジャーナリストの櫻井よしこ様のご参拝になりました。

櫻井様は、平成十九年にシンクタンク、国家基本問題研究所を設立し、国防、外交、憲法、教育、経済など幅広いテーマに関して日本の長期戦略の構築に挑んでおられます。

ご参拝の後は、宮司と意見交換などし、和やかに歓談されました。

めざせ！ふじのくに 子ども観光大使！！

静 岡を学び、静岡の素晴らしさを
世界に発信！！

七月二十二日(日)NPO法人子ども未来主催(後援観光庁)による、ふじのくに子ども観光大使の講座が開催されました。

この講座は県内の小中学生を対象とした、静岡の素晴らしさを発信する「子ども観光大使」に就任するための講座です。

当日は、日本の神話に親しむ会の皆さまによる古事記の読み聞かせと当社職員による講話と境内の歴史散策をおこないました。

酷暑の中、これからの未来を担う子どもたちが伝統や文化に親しみ、楽しみながら学ぶ姿を心強く感じました。

祭祀舞講習会

美 しい心と立ち振る舞いを学ぶ

七月二十五日(水)静岡県祭祀舞講師の稲葉悦子先生を講師に二日間に亘り祭祀舞の講習会を開催いたしました。

先生には、ご祭神にお仕えする際の心構えをご教授いただくとともに、日々のご奉仕の中で身につけてしまった作法の癖を正していただきました。

本講習会には、崇敬者である秋場美緒さんも参加し、真剣に浦安舞を学ばれていました。

今回学んだことを日々のご奉仕に生かし、さらなるご神徳の発揚に努めてまいります。

ふじのくに子ども観光大使
特別講座



所作を確認する巫女ら



第九期遠州とこわか塾開塾

常に心のアンテナを高くして、感性を高める

九月九日(日)第九期第一回目の『遠州とこわか塾』を開催いたしました。

講師に、天気予報士で元NHKニュース7気象情報担当の半井小絵先生をお招きし、防災問題をはじめ北方領土問題、北朝鮮拉致問題などの山積する問題についてご自身の経験をもとに貴重なお話をいただきました。

先生は、「ニュースにおける気象情報は、データをもとに正確さを伝えることが第一の使命、しかしながら、マスコミの多くは公正で正確な情報を国民に伝えていない。防災問題も国防問題も正しい情報を知ることが大切」と述べられました。

公演後、塾生は間近で見る七時二十八分の恋人との記念撮影を楽しんでいました。



▲遠州とこわか塾



▶小國神社氏子青年会社頭奉仕体験

小國神社氏子青年会社頭奉仕体験!!

次世代を担う青年たちが
神社を学ぶ機会に

八月十一日(土)に当社氏子青年会会員、小杉豊さん、鈴木康雄さん、久野晋嗣さんによる社頭奉仕体験を行いました。

当日は、紙垂の奉製、お守りやお神札の頒布、参拝者への案内対応を行いました。

その中でも、会員が初めて体験した紙垂の奉製作業には大変興味を持っていました。

会員たちは、「普段では体験することができない作業などをご奉仕できて、大変ありがたかった。小國神社を深く知るきっかけになった。是非、来年もお手伝いをしたい」と次回の実施にも意欲をみせていました。



▶竣工後、初めての一宮祖霊社秋季祭

一宮祖霊社本殿遷座祭の斎行

ご先祖様の御霊を大切に
お祀りしましょう

かねてより進めていた改築工事が九月十六日(日)に完遂し、仮殿より御霊をお遷しする本殿遷座祭を斎行いたしました。

当日は、責任役員毛利多克様をはじめ、一宮祖霊社奉斎会会員の皆さまのご参列のもと厳粛に執り行いました。

祭典後、宮司が新築同様に整えられた社殿について説明し、見学会を行いました。清々しい社殿に、会員から喜びの声が上がりました。

今後とも御霊の平安を祈り続けるとともに、会員の拡充にも努めて参ります。

災害復興義捐金のご奉納

お心の籠もった義捐金を賜りました

九月二十一日(金)に発生した台風二十四号による被害は日本全国に広がり、当社におきましても、末社宗像社の屋根破損、境内全域での倒木、灯籠の破損など多くの被害がもたらされました。この度の被災状況を受け、崇敬者であられる(株)久米吉代表取締役倉島正三様より、義捐金としてご浄財の奉納を賜りました。

ご厚志に深く感謝を申し上げますとともに境内整備のため大切に使用させていただきます。

◀義捐金の授受 倉島正三様(右)





もみじまつり FDAによるPRブース

もみじまつり

秋色に染まるご神域で賑わいのひととき

十一月二十五日(日)に小國神社の秋を彩る賑わいの催し「もみじまつり」を開催いたしました。

境内各所では、鈴木玉詩恵社中による和琴の奉納演奏や縄巻修己様による尺八奉納演奏の優雅な音色が響き渡りました。

また、本年は(株)フジドリームエアラインズのPRブースや裏千家松井宗蔭先生らによる呈茶席なども行われ賑わいの一日となりました。

ご参拝の皆さまが風情を楽しみながら、散策を楽しまれました。

縁結び ひょうの実守り

小國神社の縁結び伝説にちなんだ新しいお守りを奉製いたしました

ご神木「ひょうの木」とは？

当社のご神木「ひょうの木」和名(イスノキ)は、樹齢八〇〇余年と伝わる古木です。

このご神木には、「ひょうの実」といわれる不思議な実があります。この実は、正確には「実」ではなく、「虫癭(ちゅううい)」といい、虫がつくことにより葉が実のように変形します。形は様々ですが、涙型やハート型などの流線型で丸みを帯びたかわいらしい形です。

・当地に伝わる縁結び伝説

このひょうの実には、当地に古くから伝わる言い伝えがあります。遠い昔、当社のご祭神大己貴命がひょうの実を見つけます。この不思議な実を笛の様に鳴らし、美しい音色を奏でました。すると、美しい女神様がその音に惹かれて現れ、契りを結んだと伝わります。

現在も多くの皆さまが、『人々の様々なご縁を結ぶ』ご神木として祈りを捧げている姿が見受けられます。

当社では、このひょうの実を忠実に再現した、縁結び「ひょうの実守り」を奉製いたしました。多くの皆さまが、大神様のご加護をいただきますようご案内申し上げます。



ひょうの木



ひょうの実守り(授与料八〇〇円)

サザエさんに小國神社が登場!?

大神様にお供えをするサザエさん

十二月下旬までのワンクルの間、フジテレビの国民的アニメ「サザエさん」のオープニングに当社が描かれました。

このオープニングは、全国の名所や景勝地をサザエさんが巡るもので、今回は静岡県特集が組まれました。

映像では、サザエさんが案(あん)物をお供え、神職が社殿へと参進する様子と社殿が忠実に描かれていました。

日本文化の根源を伝える、新嘗祭の様子が取り上げられたこともまた、とても嬉しく思います。



本年七月、検定を主催する日本文化興隆財団が公益法人認定を受けました。日本の歴史や精神文化を総合的に学べる試みとして国より高く評価されています。

神社検定に挑戦!!

六月十日(日)、小國神社研修室で神社検定が行われました。今回は、お祭り、神社好きの第七代袋井市観光協会袋井ほっと観光特使で神社検定三級保持者の足立羽美さんに感想を伺いました。

神社を学ぶ、日本がわかる

私は今回、第七回神社検定三級を受検いたしました。受検のきっかけは、小國神社の神職さんとの会話の中で『今回で七回目となる、神社検定というものが毎年あるんですよ。神社や日本文化に興味があれば受検してみてもいいですか?』とリーフレットを貰い教えて頂いたことでした。仕事で県内の神社を訪れる機会が多く、また、静岡県森町飯田の山名神社天王祭に毎年欠かさず奉仕していることもあり、昔から神社や歴史にはとても親しみがありました。

まず、どのような内容の事柄を勉強していくか把握するため、三級の範囲となっているテキストを購入しました。一ヶ月ほどかけてテキストを読み進め、「第七回に挑戦しよう!」と決めました。(約半年かけじつくりと勉強を行いました。)勉強を進めていくごとに、普段何気なく参拝している作法に込められた意味や、お祭りの本当の意味などを知ることができました。勉強しているとより、物語や小説を読みながら自然と覚えていく感覚で、とても楽しく学ぶことができました。たくさんの知識を得てから訪れる神社の見方はガラリと変わり、日本文化の根底には神道的な価値観が流れていることが良くわかりました。

改めて、神社検定を受検する機会に恵まれたことをとても嬉しく感じています。近年、パワースポット・神社巡りや御朱印集めが注目されてもいます。ぜひ!神社・日本文化に少しでも興味ある方は神社検定に挑戦していただき、正しい知識を取得してください。また、老若男女問わず誰でも受検できる検定だなども感じました。

私は今後、二級に挑戦しようと考えています。素敵なきっかけをくださった小國神社さんありがとうございます!!

知っていますか? 神社検定。



神社ブームも影響してか、神社への参拝者は急増し、神社に対する社頭での質問も多く聞かれるようになりました。そんな中、より多くの方々に神社についての正しい知識を学んでいただき、「日本のこころ」を再発見していただくため、神社本庁監修のもと、神社検定(神道文化検定)はスタートしました。日本全国には約8万の神社があり、その1つ1つの神社に悠久の歴史が宿っています。神道は、日本文化の源です。蘊蓄(うんちく)を語りたい人も、ガイドに活用したい人も、生涯学習のテーマにしたい人も、神社検定にトライすることで、これまでアタリマエに知らなかった日本文化が、きっと見えてくるはずです。

お問い合わせ 神社検定運営事務局

Tel.03-3233-4808 受付時間/10:00~12:00、14:00~17:00 土・日・祝日休み
info_kentei@nippan.co.jp ※12月29日~1月4日はお休みさせていただきます。

プロフィール

袋井市観光協会
第7代袋井ほっと観光特使
足立 羽美



宮中の祭祀と御大礼に伴う行事

宮内庁掌典職掌典補 松田 貴文

”継承される「祈り」のご精神“

来年平成三十一年四月三十日をもって今上陛下は退位（讓位）され、皇太子殿下が新帝陛下として即位されます。御代替わりに伴う儀式の詳細は決定していませんが、前回平成の御大礼に基づいて行われる予定とされています。今回寄稿の機会をいただきましたので、前回の御大礼を振り返ってみたいと思います。

その前に、普段宮中で行われている祭祀についてお話しいたします。

皇居内に、「賢所・皇霊殿・神殿」という三つの御殿があり、通称で宮中三殿と呼ばれています。宮中の祭祀は三殿と新嘗祭を行われる神嘉殿、歴代天皇の山陵を中心に行われています。賢所には、皇祖天照大御神が祀られています。三種の神器の一つで皇大神宮（内宮）に祀られている八咫鏡の写しの御鏡が祀られています。

皇霊殿には、御歴代の天皇・皇族の御霊が祀られています。

神殿には、天神地祇八百萬神、つまり国中の神々が祀られています。

三殿を中心に恒例（別表参照）・臨時の祭典が行われ、天皇陛下は御拝礼になり御祈念をされています。一月一日は新年祝賀などの行事が行われ、天皇陛下には最も忙しい一日を過ごされますが、最初の行事としまして午前五

時三十分「四方拝」に臨まれます。天皇陛下が伊勢の神宮、歴代天皇の山陵、四方の神々を御遙拝される行事で、一年最初の行事は祭祀から始まります。

臨時の祭典としては、歴代天皇の節目の年の崩御日（ご命日）に行われる式年祭や外国を御訪問される際の祭典などがあります。式年祭は、三年・五年・十年・二十年・三十年・四十年・五十年・百年・以後百年ごとに行われます。来年一月七日は昭和天皇の三十年式年祭が行われる予定です。

宮中恒例の祭典で最大・最も重要なものが新嘗祭です。

新嘗祭は、天皇陛下御自ら皇祖天照大御神始め神々に新穀をお供えになり、五穀豊穡の神恩を感謝される祭典です。神々にお供えの後、御直会として天皇陛下も召し上がられます。お供え物の中心は米と粟でありまして、

各都道府県の農家の方々から献上いただいた米・粟と、天皇陛下御自ら栽培された米と粟をお供えになります。

新嘗祭は十一月二十三日午後六時から午後八時過ぎにかけて「夕の儀」が行われ、少し時間を空けて午後十一時から翌二十四日午前一時過ぎにかけて「暁の

儀」が行われます。二度儀式を繰り返すことにより深く感謝を示されると言われています。

新嘗祭は深夜まで長時間に及び、また寒い季節の祭典です。他にも早朝に、また深夜まで、そして暑い季節にも寒い季節にも祭典は行われます。三殿や神嘉殿、そして天皇陛下がお召し替えをされる綾綺殿には冷暖房も入っていません。

過酷な環境ではありますが、天皇陛下は祭祀を非常に大切にされ、また祭祀での御祈念ではご自身のことではなく、常に国のこと国民のことを御祈念されていると伺っております。昭和天皇の御製に

「我が庭の宮居に祭る神々に世の平らぎをいのる朝々」

恒例の宮中祭祀

1月 1日	四方拝、歳旦祭
1月 3日	元始祭
1月 4日	奏事始
1月 7日	昭和天皇祭
1月30日	孝明天皇例祭
2月17日	祈年祭
春分の日	春季皇霊祭・春季神殿祭
4月 3日	神武天皇祭、皇霊殿御神楽
6月16日	香淳皇后例祭
6月30日	節折、大祓
7月30日	明治天皇例祭
秋分の日	秋季皇霊祭・秋季神殿祭
10月17日	神嘗祭
11月23日	新嘗祭
12月中旬	賢所御神楽
12月23日	天長祭
12月25日	大正天皇例祭
12月31日	節折、大祓

との御製がございます。御歴代の天皇にも祭祀や御祈念を詠まれた御製が多く、御歴代の天皇が祭祀また御祈念を大切にされていたことが伺えます。

前回の御大礼では、昭和天皇の崩御に伴い、今上陛下が皇位を継承されました。すぐさま三種の神器や御璽（天皇陛下の印）・国璽（日本国の印）を継承される「剣璽等承継の儀」が行われ、同じくして賢所・皇霊殿・神殿に奉告されました。

御大礼の大きな儀式として、即位礼と大嘗祭があります。即位礼と大嘗祭の期日が定められると、賢所そして皇霊殿神殿に奉告される「期日奉告の儀」が行われました。神宮・神武天皇山陵・前四代の天皇山陵（孝明天皇・明治天皇・大正天皇・昭和天皇の山陵）にも勅使（天皇陛下の御使）が遣わされ奉告されました。

即位礼では、まず賢所に即位の旨を奉告される「即位礼当日賢所大前の儀」、続いて皇霊殿・神殿にて「即位礼当日皇霊殿神殿に奉告の儀」が行われました。その後皇居正殿松の間にて「即位礼正殿の儀」が行われ、天皇陛下が高御座に、皇后陛下が御帳台に、それぞれお昇りになられ、天皇陛下が即位を全国民と諸外国に宣明され、国内外の代表が即位を寿ぎました。

先に新嘗祭について述べましたが、天皇陛下の御即位後初めて行われる新

嘗祭が大嘗祭です。大嘗祭は一世に一度のみ行われ祭祀の中でも最重要のものとして行われます。新嘗祭は神嘉殿で行われますが、大嘗祭は悠紀殿・主基殿を中心とした大嘗宮を大嘗祭のためにみに造営され行われます。

新嘗祭では各都道府県の農家の方々から米と粟を献上いただきお供えしますが、大嘗祭では悠紀齋田・主基齋田という選ばれた二カ所の神聖な田から新穀をお供えします。齋田を設ける都道府県を決定する行事が「齋田点定の儀」です。古からのウミガメの甲羅を使用する古い「亀卜」によって決定します。前回は悠紀地方が秋田県、主基地方が大分県でした。秋を迎え齋田の稲穂が稔ると「齋田拔穂の儀」が行われ、拔穂使を遣わされお供えする米を収穫します。

平成二年十一月二十二日大嘗祭当日は、伊勢の神宮に勅使を遣わされるとともに、「大嘗祭当日賢所大御饌供進の儀」・「大嘗祭当日皇霊殿神殿に奉告の儀」を行われ、宮中三殿と神宮に大嘗祭を行われる旨を報告されました。

夕刻大嘗宮では、午後六時三十分から「悠紀殿供饌の儀」が、翌二十三日午前零時三十分から「主基殿供饌の儀」が、それぞれ三時間ほどかけて行われました。二十四日・二十五日両日に直会として「大饗の儀」を行われ、大嘗祭を無事終えられたことをお祝い

されました。

大嘗祭には、「庭積机代物」として、各都道府県から米・粟と特産の農水産物が供えられます。静岡県からは前回お茶・みかん・わさび・しいたけ・かつお節が供えられました。

即位礼と大嘗祭を無事に終えられた天皇陛下は、皇后陛下とともにまず伊勢の神宮を参拝され即位礼と大嘗祭を終えられた旨を御奉告されました。この儀式を「即位礼及び大嘗祭後神宮に親謁の儀」と申します。豊受大神宮（外宮）・皇大神宮（内宮）の順に参拝されます。行在所（天皇皇后両陛下のお控え所）にて天皇陛下は御束帯・黄櫨染御袍を、皇后陛下は御五衣・御唐衣・御裳（十二単）をお召しになり、正宮までは儀装馬車にご乗車になり進まれます。

神宮の親謁後、神武天皇山陵・孝明天皇山陵・明治天皇山陵・大正天皇山陵・昭和天皇山陵で親謁の儀が行われ、続いて賢所・皇霊殿・神殿に親謁され、最後に賢所で御神楽の儀が行われます。御神楽とは宮内庁で雅楽を担当する楽師が一堂に会し、人長舞と雅楽を奉奏して神霊をなごめる祭典です。御神楽の演目は非常に長く六時間にわたって演奏されます。

御即位にあたってはここに記載しました以外にも行事が行われ、即位礼・大嘗祭を中心に非常に多くの行事が行

われます。

来年は天皇陛下の御即位三十年、天皇皇后両陛下の御成婚六十年という奉祝の年でもあります。これまでの天皇皇后両陛下の御活動に感謝を申し上げますとともに、新帝陛下の御即位関係の行事が滞りなく行われるよう職員として微力ながらご奉仕してまいりたいと思います。



プロフィール

宮内庁式部職庶務第二係長
宮内庁掌典職掌典補

松田 貴文

静岡県浜松市天竜区出身、両親は小國神社で奉仕
平成12年3月 國學院大學文学部神道学科卒業
同4月 宮内庁掌典職出仕拜命
平成14年1月 宮内庁掌典職掌典補拜命

これからの 行事

4月



平成31年1月20日(日)午前9時より

どんど焼き祭

どんど焼きは、お正月に飾った注連縄や門松、古いお神札やお守りを焚き上げ、各家庭でお正月にお迎えした歳神様（ご先祖様の御霊）をお送りする大切な神事です。

神聖な神事の妨げとなる不要物（ぬいぐるみ・人形・おもちゃなど）をお持ち込みにならないようお願いいたします。



田遊び神事 9番 苗贄め

3月

やよい
弥生

- | | | |
|-----|----------|------------|
| 1日 | 月次祭 | (午前 9時) |
| 1日 | 一宮祖霊社月次祭 | (午前10時) |
| 2日 | 大骨董蚤の市 | (日の出~午後3時) |
| 6日 | 本宮山月次祭 | (午前10時) |
| 17日 | 真田城趾慰霊祭 | (午前10時30分) |
| 17日 | 鉦執社例祭 | (午後 1時30分) |
| 18日 | 月次祭 | (午前 9時) |
| 21日 | 春季皇霊祭遙拜式 | (午前 9時) |
| 28日 | 初甲子祭 | (午前 9時) |

4月

うづき
卯月

〈例祭日程〉

- | | | |
|-----|---------------|---------|
| 17日 | 献詠祭 | (午前 9時) |
| 17日 | 前日祭 | (午前10時) |
| 18日 | 例祭 | (午前10時) |
| 20日 | 氏子入奉告祭 | (午後 2時) |
| 20日 | 古式十二段舞楽奉奏(重文) | (午後 2時) |
| 21日 | 古式十二段舞楽奉奏(重文) | (午前11時) |
| 21日 | 神幸祭 | (午後 2時) |



◀ 歳旦祭

1月1日午前2時より齋行いたします。

新年を祝い皇室の弥栄と国の益々の発展、氏子崇敬者と地域社会の平和と繁栄を祈るお祭りです。

▶ 手鉾始祭

1月11日午前9時より齋行いたします。

古くから伝わる特殊神事の一つで、大工職人の皆さまがご奉仕されます。古式による所作が古の技を伝えます



古式十二段舞楽「色香」

小國神社の 祭典・

1月～

平成30年12月31日(月)午後3時より 師走大祓式・除夜祭

日常生活の中で犯した罪や過ち、心身の穢れを人形に託して川や海に流し、祓い清める神事です。

引続き、無事の一年を感謝し、佳き年を迎えることができるようにお祈りする除夜祭を執り行います。両祭典とも、どなたでもご参列ができます。

一年の罪穢れを祓い、身も心も清々しい気持ちで新年をお迎え下さい。

1月

睦月

1日	初祈禱祭	(午前 0時)
1日	歳旦祭	(午前 2時)
1日	一宮祖霊社歳旦祭	(午前 8時)
2日	日供始祭	(午前 8時)
3日	元始祭・追儺祭	(午前 8時)
3日	田遊祭	(午後 1時)
6日	本宮山例祭	(午前10時)
7日	昭和天皇祭遙拝式	(午前 8時)
7日	神明宮参拝	(午前 9時)
11日	手鉦始祭	(午前 9時)
16日	寒の丑日水汲祭	(午前 2時)
17日	八王子社例祭	(午前 9時)
17日	御弓始祭	(午前10時)
18日	月次祭	(午前 9時)
20日	どんど焼祭	(午前 9時)
20日	～2月3日 厄除大祭	
27日	甲子祭	(午前 9時)

2月

如月

1日	月次祭	(午前 9時)
1日	一宮祖霊社月次祭	(午前10時)
2日	大骨董蚤の市	(日の出～午後3時)
3日	節分祭世話人祈禱祭	(午前11時)
3日	節分祭	(午後 2時)
6日	本宮山月次祭	(午前10時)
11日	紀元祭	(午前10時30分)
15日	宗像社・飯王子社 ・白山社例祭	(午前 9時)
15日	塩井神社例祭	(午前10時)
18日	祈年祭	(午前10時)



御弓始祭

1月17日午前10時より斎行いたします。

当社では、『疫神鎮送』の神事としての災い除けの側面を持ち合わせています。的に向かい放たれた矢は、災難除けの縁起物として持ち帰る方が大勢います。



節分祭・豆撒き神事

2月3日午後2時より斎行いたします。豆撒き神事等、全員参加型の神事で、多くのご参拝の皆様で賑わっています。元は宮中の年中行事として行なわれ、現在では、日本の国民的な伝統神事として定着しています。





温かい我が家
 年が改まり、心も改まる
 日本中が「おめでとう」の
 声につつまれる

暮らしに生きる「神道」
 お正月

「明けましておめでとうございます」年が明けると日本中がこの言葉に包まれます。「おめでとう」と挨拶をされると、誰もが「おめでとう」と答えます。慣れ親しんだ光景ですが、「お正月」が私たちの暮らしにおいて特別なものであることがわかります。

神代より、日本人は稲作を中心とした生活を営んできました。春に蒔かれた籾は早苗となり、初夏の田植えを経て、秋には黄金色の稲穂をたわわに稔らせます。そして、冬になるとお米の一粒一粒が新しい生命を蓄え、巡り来る春を待ちます。私たちの祖先は、この時のながれを「年(歳)」と呼ぶようになりました。

お正月は、単に一年の始まりだけではなく、農事を始める前に、その年が豊作であるように神さまにお祈りする大切な神まつり(予祝)でした。

今日では、本来の意味が忘れられがちですが、お正月は『神さまと人とを結びつけ、家庭の和を育む大切な伝統行事』の一つです。

「お正月」は、神さまと人を結びつけ、家庭の和を育む。



お正月は歳神さまを
 お祀りする神事

わらべ歌の中に
 「お正月さまがごーざった
 何処までごーざった 神田までごーざった
 何に乗ってごーざった 交譲木(ゆずりは)に乗って
 ゆずりゆずりごーざった」
 という歌があります。お正月の訪れを指折り数えて
 待つ子どもたちの姿が目につかびます。昔も今も変
 わらない心持ちではないでしょうか。
 さて、ここで出てくる「お正月さま」は「歳神さ
 ま」のことで、年の始めに家を訪れ、家族に幸せを授
 ける神さまです。



この歳神さまは稲の魂であるとともにご先祖さまの御霊と一体のものであるとの信仰があります。
 年末からお正月にかけて行なわれる様々な行事は、すべてこの歳神さまをおまつりするのためのものなのです。

歳神さまをお迎えするための

年の暮れになると、どこの家庭でも大掃除をして、お正月を迎える準備をおこないます。大掃除のときには、神だなや御霊舎を綺麗にし、お神札も新しくします。玄関に注連飾りや、門松を飾るのは、その場所が清浄であると示し、歳神さまを家にお迎えする目印となります。そして、鏡餅を飾って歳神さまにお供えをします。



近年では、核家族化や住環境の変化によりマンションや洋室などでお正月を迎える場合、「門松を飾る場所がない床の間がない」という方も多いのではないのでしょうか。そのような場合は、市販の正月飾りを用いたり、タンスや飾り棚の上に鏡餅をお供えするとよいでしょう。
 何よりも大切なことは、清々しい気持ちで迎春準備を整え、真心で神さまをお迎えすることです。

健康で充実した人生を願う

遠江國宮 小國神社

厄除大祭

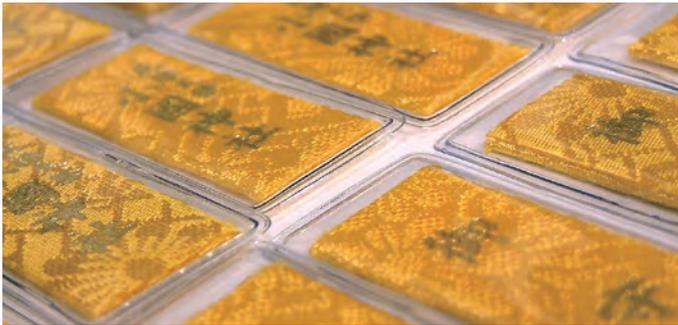
平成31年

1月20日(日)～2月3日(日)

春に祈る、充実した 一年を願って

今年も、小國神社では、一月二〇日(日)～二月三日(日)まで厄除大祭(やくよけたいさい)を執り行います。厄年のお祓いをはじめ八方塞除け、黒星災難除け、災い除けなど諸々のご祈禱をご奉仕いたします。祈禱受付でお申込み下さい。

(初穂料五、〇〇〇円から)



厄年とは？

古くから日本に伝わる考え方で、身の回りの凶事・体調不良など様々な難を招きやすい年とされています。

男性は二十五歳・四十二歳・六十一歳、女性は十九歳・三十三歳、三十七歳が「本厄」の年とされ、前後の年齢を「前厄」「後厄」と言います。

これらの年は神事で重要な「役(やく)」を担う風習があったことから、厄年の語源であるとも言われています。神さまに失礼のないよう慎み、心身を清浄にするため、ご祈禱を受けたのが厄除のはじまりと考えられます。

厄年の過ごし方

厄年には、人生の節目を大切にしたい。生活の知恵や教訓が込められています。身体の変調期や生活環境の変わり目にあたり、体調を崩しやすいときに重なります。

厄除祈禱の際に授与されたお神札をおまつりし、お守りを身近に持って、健康に留意しながら慎重深く生活することが大切です。

無事に年を重ねたことの喜びをかみしめ、神々に「生かされている」ことを感じ、日々の家庭のおまつりを通じて清々しい心で生活したいものです。

平成31年八方塞がり・黒星一覽表

八方塞がり【八白土星】 <small>万事に慎重を要する年まわりと言われています</small>		黒星【四緑木星】 <small>運気が低迷する年まわりと言われています</small>	
昭和 22 年	73 歳	昭和 17 年	78 歳
昭和 31 年	64 歳	昭和 26 年	69 歳
昭和 40 年	55 歳	昭和 35 年	60 歳
昭和 49 年	46 歳	昭和 44 年	51 歳
昭和 58 年	37 歳	昭和 53 年	42 歳
平成 4 年	28 歳	昭和 62 年	33 歳
平成 13 年	19 歳	平成 8 年	24 歳
平成 22 年	10 歳	平成 17 年	15 歳

※上記の年齢は数え年です

※上記の年齢は数え年です

平成31年厄年一覽表

男 性			女 性		
前 厄	本 厄	後 厄	前 厄	本 厄	後 厄
昭和35年	昭和34年	昭和33年	昭和59年	昭和58年	昭和57年
60歳	61歳	62歳	36歳	37歳	38歳
昭和54年	昭和53年	昭和52年	昭和63年	昭和62年	昭和61年
41歳	42歳	43歳	32歳	33歳	34歳
平成 8年	平成 7年	平成 6年	平成14年	平成13年	平成12年
24歳	25歳	26歳	18歳	19歳	20歳

※上記の年齢は数え年です

※上記の年齢は数え年です

新生児選名・命名について

生を受け、生を伝える
「人の一生」

様々な節目を迎えるとき、神さまへ「感謝」と「ご奉告」を行うことは、古来より受け継がれた日本の文化です。

当社では、日本の伝統文化に則した新生児にふさわしい名前を選名いたします。また、ご家族で考えられたお名前候補の中からご相談の上、選名いたします。お名前が決定の後、お子様の無事成長と一生の幸せをご神前でお祈りし、お神札、朱印を押印した命名書を授与しております。

平成三十年六月一日(金) 平成三十年十一月三十日(金)

命名 父 小國 太郎 母 花子 長男 大和

選名祝福

当社で命名奉告をされた皆様
お子様の健やかな成長をお祈りします

高木 銀斗 森町	平城 光喜 袋井市	外山 有俊 森町	坂部 幸徳 菊川市
宮崎 蒼大 袋井市	岡本 華 森町	加藤 想 森町	大場 梨々華 袋井市
藤田 実和 掛川市	松井 香乃 森町	松尾 燈菜 森町	戸塚 葵保 森町
松田 恵菜 掛川市	菅野 遥暉 愛媛県	廣瀬 玄人 袋井市	鶴飼 頭斗 袋井市
新川 葵 掛川市	和田 唯那 掛川市	鈴木 悠斗 袋井市	原田 莉瑚 袋井市
天野 穂芽良 森町	秋山 史玖 浜松市	両角 碧人 袋井市	白岩 真緒 袋井市
兵藤 紗帆 袋井市	八木 奏多 藤枝市	鈴木 里菜 掛川市	山田 梨緒那 森町
島村 岳 袋井市	仲田 千葉 藤枝市	鈴木 創大 掛川市	宮城 智早 菊川市
森下 明美 掛川市	秋山 佳穂 袋井市	鈴木 志帆 掛川市	粕谷 奏羽 掛川市
河部 晃大 浜松市	山口 晴基 袋井市	鈴木 洗太郎 袋井市	大井 花織 掛川市
大植 翔真 菊川市	村田 燈架 菊川市	河原崎 琉斗 袋井市	三浦 穂乃花 袋井市
山下 翔也 袋井市	大嶋 史結 袋井市	鬼村 和子 袋井市	今井 勇斗 愛知県
平井 佐奈 藤枝市	奥宮 鈴花 袋井市	内山 汐莉 袋井市	田中 日菜 掛川市
那須 田紗良 浜松市	伊藤 花 袋井市	花島 咲奈 森町	大杉 紗弥 袋井市
久野 玄太郎 森町	熊切 帆乃香 掛川市	内藤 充哉 袋井市	
八木 柚羽 袋井市	齋藤 幹太 掛川市	吉田 慶太郎 袋井市	
村松 瑛地 袋井市	小林 巧人 袋井市	加藤 めぐみ 袋井市	
吉田 理花 袋井市			

お申し込み方法など詳しくは、小國神社 選名・命名奉告で検索

神社を知れば日本がわかる “まっりの国、日本”



イラスト 小國神社ものがたり 作 たたら なおき

●七福神のお話●

国籍はどこ？国際色豊かな神さまたち

七福神は、福德をもたらす神々として広く親しまれています。初めは、様々な神さまを福の神としてきましたが、次第に恵比寿・大黒・弁財天・毘沙門天・布袋・福祿寿・寿老人が定着をしてきました。「福德」をもたらす神々として信仰が盛んになるのは室町時代からです。大国主神（大国さま・大黒さま）・事代主神（恵比

寿さま）は親子の神さまで、日本では古来より信仰されています。恵比寿さまは海運守護・商売繁昌の神、大国さま・大黒さまは福德円満・縁結びの神として信仰されています。布袋さまは中国の禅僧、弁財天、毘沙門天はインド仏教の神々です。福祿寿・寿老人は中国の道教の神々で共に長寿の象徴とされます。



最優秀賞 川合正尚氏「静浄」

古代の森 小國神社

〔第17回〕写真コンテスト

「小國神社で見つけた日本の美しさ」を表現した「こころ安らぐ」素敵な作品を心よりお待ちしております

「伝統文化」「美しい自然」を切り取る

本年も好評をいただいております「古代の森小國神社写真コンテスト」を開催いたします。小國神社で見つけた日本の美しさ」を表現した写真を募集しています。作品一枚からでも、年齢やお住まいを問わず誰でもご応募いただけるコンテストとなっております。

作品のご応募について

- 募集部門
 - 第一部門 境内に咲く草花・樹木などの自然
 - 第二部門 祭事・催物
 - 第三部門 野鳥
 - 応募期間
 - 平成三十一年六月一日～七月十日必着
 - ご応募のきまり
 - カラープリント 四切/ワイド四切(フチなし)
 - 撮影期間 平成三十年七月上旬～平成三十一年六月下旬
 - 未発表作品に限ります
- ※詳細は当社WEBサイト、当社・県内写真各店配布の応募用紙をごらんください。

最優秀賞から入選まで各賞をご用意

- 受賞作として二十作品を選び、表彰と懸賞のお渡しをしています
- 最優秀賞 一名 賞金五万円 賞状 森町産お茶
 - 優秀賞 三名 賞金二万円 賞状 森町産お茶
 - 特別賞(宮司賞) 一名 賞金三万円 賞状 神饌茶
 - 入選 十五名 賞状 副賞(二品)

心ゆくまで作品を堪能できる写真展へお越しください。ご応募いただいた作品の中から、受賞作品・展示作品、約五十点を選び、展示いたします。

写真展の開催予定

小國神社休憩所2階研修室
平成31年9月頃開催予定

写真展に寄せられた感想をご紹介します



●美しい写真に感銘を受けました。どれも素晴らしい!! (愛知県)

●「静浄」がとても素敵でした。神さまが宿っているかのようです。(東京都)

●改めて、「日本っていいな～」と感じました。(磐田市)



●感動して、涙が出てきました。ありがとう。(袋井市)

●小國神社は本当に素晴らしい。この場所をいつまでも大切にしていきたいです。(森町)



詳しくはこちら [第十七回 小國神社 写真コンテスト](#)

[検索](#)

◆辞令交付◆

禰宜 土屋克彦
権宮司に任ずる

禰宜 鈴木勝弘
禰宜に任ずる
(九月十日付)

禰宜 甲田慎一
禰宜に任ずる
(九月十日付)

禰宜 鈴木勝弘
祭務部長を命ずる
(九月二十四日付)

禰宜 甲田慎一
総務部長を命ずる
(九月二十四日付)

権禰宜 村松芳博
祭務部次長を命ずる
(九月二十四日付)

権禰宜 打田雅臣
総務広報課長を命ずる
(九月二十四日付)

権禰宜 森越靖幸
祭務課長を命ずる
(九月二十四日付)

巫女 梶山綾子
巫女長を命ずる
(九月二十四日付)

新体制のもと、職員一同、神威を畏み、宮司を輔け、祭祀の厳修とご神徳の発揚に精励致す所存であります。今後とも倍旧のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

特別奉製

絵馬師 永崎ひまる謹製

干支絵馬付き破魔矢

(授与料一、〇〇〇円也)

昨年もお好評いただきました、絵馬師の永崎ひまるさんがデザインをした、干支絵馬付き破魔矢を本年もお正月より授与いたします。本年の干支絵馬は、優しいお母さんイノシシと戯れるウリボウ、そしてご祭神の宝器、打ち出の小槌がデザインされた縁起の良い図柄となっております。本作品も小國神社の雰囲気存分に表現した当社でしか手にすることができない特別な授与品となっております。

『絵馬』の歴史を知りましょう。

祈願または祈願成就の感謝の証として神社に奉納する、馬の絵を描いた額のことを「絵馬」といいます。

日本では古くから、神さまの乗り物として馬が神聖視され、お祭りや祈願のときに生きた馬を奉納する風習がありました。その代わりとして、板に馬の絵を描き奉納するようになったのが絵馬の起源とされています。

現代では、図柄は多様化し、病氣平癒を願う絵馬や安産や子育てなどの絵馬が次第に増えてきました。最近では入学祈願や就職、良縁を求めるための絵馬が増えていきます。



プロフィール

永崎ひまる

絵馬師・和風画家・作家
平成二十七年年度神道文化賞受賞



伊勢の神宮をはじめ、宗像大社など数々の神社に大絵馬を奉納。平成二十八年には、伊勢志摩サミットを記念した大絵馬を安倍首相に献上。

また、二〇一四グルメ世界料理本大賞イラストレーション部門のグランプリに選出、読売新聞の書評欄「本よみうり堂」などでも紹介される。

絵馬をはじめとする様々なイラストレーションやデザインを通して日本の文化を世界に広める活動を展開している。

編集後記



玉垂五十四号をお届けいたします。本年の紅葉は、懸念していた台風二十四号による塩害は最小限に留まりました。フォトスポットの宮川に架かる赤橋より北側では例年と変わらない色付きとなり、多くの人々の目を楽しませていました。これも偏に大神様のお恵みによるものと存じます。

また、今季は外国人の皆さまが大変多く訪れました。一宮駅と当社を結ぶ特別運航バスが外国人で満席であったとの報告も受けました。ヒジャーブを被ったムスリムの女性らが楽しそうに紅葉観賞している様子は、今まで見ることがなかった光景の一つです。

また、カメラを片手に境内を撮影していた際には、アメリカ人フォトグラファーからも声をかけられました。話をしてみると、日本の文化や四季の行事に大変興味をもたれている方でした。小國神社のご神域を美しいと感じる心は、世界共通のようです。来年も多くの皆さまのご参拝を心よりお待ちしております。